6　一般選抜（前期日程・後期日程）

学部・学科・コース共通事項

(1) 出願資格

次の各号のいずれかに該当し，かつ，令和６年度大学入学共通テストにおいて，志望する学部・学科・コースごとに本学が指定する教科・科目をすべて受験した者とします。

出願にあたっては，令和６年度一般選抜（前期日程・後期日程）学生募集要項を必ず確認してください。

ア　高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)を卒業した者又は令和６年３月 31 日までにこれを卒業する見込みである者
イ　通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者又は令和６年３月 31 日までにこれを修了する見込みである者
ウ　学校教育法施行規則第 150 条の規定(注)により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和６年３月 31 日までにこれに該当する見込みである者

（注）　学校教育法施行規則第 150 条第７号(大学による個別の入学資格審査)による出願を希望する者は，本学に入学資格認定申請を行い，あらかじめ入学資格の認定を受ける必要がありますので，本部事務部入試・広報課（082-251-9540）まで連絡してください。

(2) 募集方法

本学は，各学部とも分離・分割方式により「前期日程」及び「後期日程」に分けて募集し，日程ごとに合格者を決定します。

(3) 選抜方法

入学者の選抜は，令和６年度大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の結果を総合して行います。

なお，一般選抜（前期日程・後期日程）においては，２段階選抜は実施しません。

(4) 大学入学共通テストの利用教科・科目

ア　各学部・学科等の「大学入学共通テスト試験の利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点」欄を参照してください。

なお，本学は，大学入試センター試験並びに大学入学共通テストの成績の複数年度利用は行いません。

イ　各教科・科目の取扱

①国語，地理歴史，公民，数学，理科，外国語（ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語）

英語以外の外国語を選択した場合は，筆記（200 点満点）の成績を，各学部・学科等で利用する配点に換算します。

②外国語（英語）

・リーディング及びリスニングを，外国語（英語）を利用する学部・学科等の全受験者に，出願要件として課します。
・英語の得点については，リーディング（100 点満点），リスニング（100 点満点）の合計点（200 点満点）を，下記の表のとおり取り扱うこととし，各学部・学科等が定めている配点に換算します。

募集区分　学部・学科等		リーディング	リスニング	合計
一般選抜（前期日程） 地域創生学部　地域創生学科 地域産業コース	経営志向枠	80 点満点	20 点満点	100 点満点
	応用情報志向枠	160 点満点	40 点満点	200 点満点
一般選抜（前期日程） 地域創生学部　地域創生学科　健康科学コース		160 点満点	40 点満点	200 点満点
一般選抜（前期日程・後期日程） 生物資源科学部		160 点満点	40 点満点	200 点満点
一般選抜（前期日程・後期日程） その他の区分，学部・学科等		100 点満点	100 点満点	200 点満点

＊　重度難聴者等でリスニングを免除された場合は，リーディング（100 点満点）の得点を英語の得点とし，各学部・学科等が定めている配点に換算します。

ウ　「数学」から１科目を選択する場合において，２科目を受験している場合は，各学部・学科等が指定した科目のうち，最高得点の科目の得点を採用します。

エ　「地理歴史」,「公民」から１科目を選択する場合において，２科目を受験している場合は，第１解答科目の得点を採用します。

オ　「理科」から１科目を選択する場合において，複数の科目を受験している場合は，次の得点を採用します。

ただし，各学部・学科等により指定する科目が異なるので，詳細は各学部・学科等の記載を必ず確認してください。

①　基礎を付した科目から２科目のみを受験している場合，その得点
②　基礎を付していない科目から１科目のみを受験している場合，その得点
③　基礎を付した科目から２科目及び基礎を付していない科目から１科目を受験している場合，いずれか高い方の得点
④　基礎を付していない科目から２科目を受験している場合，第１解答科目の得点

(5) 個別学力検査等における「総合問題」

課題文や資料（論説・記事・説明文等の文章，図表・グラフ・数式等）を理解した上で，論理的に思考し，的確に表現することを求める記述式の問題を出題します。高等学校までに身につけた基礎学力を前提に，課題に対する分析力，問題解決能力等，自分の考えをまとめていく力が求められます。

区　分	内　容　等
総合問題Ａ	人間や社会に関するテーマの課題文を出題します。解答形式には，字数制限を設けた論述が含まれます。英語の課題文が課される場合もあります。学部・学科等によって，英語の課題文の有無が異なります。
総合問題Ｂ	自然科学に関する基礎的な知識の応用力，論理的な思考力などを問います。解答形式には，字数制限を設けた論述や，記号や数式を用いた説明が含まれます。学部・学科等によって，必要とされる基礎知識（教科・科目）に対応した問題を選択して解答します。

学部・学科・コース	前　　期	後　　期
地域創生学部地域創生学科 **地域文化コース**	**総合問題Ａ** 英語による課題文を含む。	【経過選択】 **総合問題Ａ** 英語による課題文を含まない。
地域創生学部地域創生学科 **地域産業コース**	【経営志向枠】 **総合問題Ａ** 英語による課題文を含む。 【応用情報志向枠】 **総合問題Ｂ**（ア） 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａ及び 数学Ｂ（数列，ベクトル）	
地域創生学部地域創生学科 **健康科学コース**	**総合問題Ｂ** 化学基礎・生物基礎	
生物資源科学部 **地域資源開発学科**	**総合問題Ａ** 英語による課題文を含まない。	
生物資源科学部生命環境学科 **生命科学コース**	**総合問題Ｂ**（ア） 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａ及び 数学Ｂ（数列，ベクトル） **総合問題Ｂ**（イ） 次の①～③から１つ選択 ①物理基礎・物理 ②化学基礎・化学 ③生物基礎・生物	【経過選択】 **総合問題Ａ** 英語による課題文を含む。 **総合問題Ｂ**（ア） 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａ及び 数学Ｂ（数列，ベクトル） **総合問題Ｂ**（イ） 次の①～③から１つ選択 ①物理基礎・物理 ②化学基礎・化学 ③生物基礎・生物
生物資源科学部生命環境学科 **環境科学コース**	**総合問題Ｂ**（ア） 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａ及び 数学Ｂ（数列，ベクトル） **総合問題Ｂ**（イ） 次の①～③から１つ選択 ①物理基礎・物理 ②化学基礎・化学 ③生物基礎・生物	
保健福祉学部保健福祉学科 **人間福祉学コース**	**総合問題Ａ** 英語による課題文を含まない	**総合問題Ａ** 英語による課題文を含まない

※　総合問題においては，各問題の点数（100 点）を，各学部・学科等が定めている配点に換算します。

(6) 「県立広島大学・地域への志向性」の評価

本学が掲げる「課題探究型地域創生人材」育成の観点から，これまでの取組で考えたことなどを受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき，最大５点までの範囲で加点方式により評価します。詳細は１ページを確認してください。

(7) 個別学力検査等の試験場

学　部　・　学　科		試　験　場
地域創生学部	地域創生学科	県立広島大学広島キャンパス
生物資源科学部	地域資源開発学科	県立広島大学庄原キャンパス
	生命環境学科	県立広島大学庄原キャンパス 広島市試験場（場所は学生募集要項で指定します。）
保健福祉学部	保健福祉学科	県立広島大学三原キャンパス

■ 地域創生学部　地域創生学科　地域文化コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

	試験区分	教科名	科　目　名	配点 科目配点	配点 区分合計	配点 総合計
前期(36)	大学入学共通テスト【4教科4科目（又は5科目）】	国　語	国語	200	700	900
		地理歴史 公　民	世界史A，世界史B，日本史A，日本史B，地理A，地理B，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」　から1科目	200		
		数　学 理　科	数学Ⅰ，数学Ⅰ・数学A，数学Ⅱ，数学Ⅱ・数学B，簿記・会計，情報関係基礎，物理，化学，生物，地学　から1科目 又は 物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎　から2科目	100		
		外国語	英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語　から1科目	200		
	個別学力検査等	総合問題A		200	200	

（大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項）

ア　「地理歴史」，「公民」から1科目を選択する場合において，2科目を受験している場合は，第1解答科目の得点を採用します。

イ　「数学」，「理科」において，指定した科目のうち，複数の科目を受験している場合，次の各教科（①及び②～⑤のパターン）を比較し，最も高得点となる教科の得点を採用します。

①「数学」においては，最高得点の科目の得点

②「理科」において，基礎を付した科目から2科目のみを受験している場合，その得点

③「理科」において，基礎を付していない科目から1科目のみを受験している場合，その得点

④「理科」において，基礎を付した科目から2科目及び基礎を付していない科目から1科目を受験している場合，いずれか高い方の得点

⑤「理科」において，基礎を付していない科目から2科目を受験している場合，第1解答科目の得点

ウ　「外国語」の科目のうち「英語」については，「リーディング」及び「リスニング」の得点を合計し，表に示した点数に換算します。

エ　「4教科5科目」となるのは，「理科」において，基礎を付した科目（2科目を必ず選択解答）を選択した場合のみです。

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
総合問題A	課題文や資料（論説・記事・説明文等の文章，図表・グラフ・数式等）をもとに，理解力，読解力，論理的思考力，文章表現力などを見るための設問を行い，これらを総合的に判断し，点数化して評価します。 英語による課題文を含みます。

■　加点対象

・　県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と，本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

■ 地域創生学部　地域創生学科　地域産業コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程	枠（定員）	試験区分	教科名	科目名	配点 科目配点	配点 区分合計	配点 総合計
前期	経営志向枠（17）	大学入学共通テスト（５教科５科目（又は６科目））	国語	国語	100	500	800
			地理歴史 公民	世界史A，世界史B，日本史A，日本史B，地理A，地理B，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」　から１科目	100		
			数学	数学Ⅰ，数学Ⅰ・数学A，数学Ⅱ，数学Ⅱ・数学B，簿記・会計，情報関係基礎　から１科目	100		
			理科	物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎　から２科目又は物理，化学，生物，地学　から１科目	100		
			外国語	英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語　から１科目	100		
		個別学力検査等	総合問題A		300	300	
	応用情報志向枠（15）	大学入学共通テスト（５教科６科目（又は７科目））	国語	国語	200	800	1,100
			地理歴史 公民	世界史A，世界史B，日本史A，日本史B，地理A，地理B，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」　から１科目	100		
			数学	数学Ⅰ，数学Ⅰ・数学A　から１科目	100		
				数学Ⅱ，数学Ⅱ・数学B，簿記・会計，情報関係基礎　から１科目	100		
			理科	物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎　から２科目又は物理，化学，生物，地学　から１科目	100		
			外国語	英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語　から１科目	200		
		個別学力検査等	総合問題B（ア）		300	300	

（大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項）

ア　「地理歴史」，「公民」から１科目を選択する場合において，２科目を受験している場合は，第１解答科目の得点を採用します。

イ　「理科」の選択において，指定した科目のうち，次の得点を採用します。

① 基礎を付した科目から２科目のみを受験している場合，その得点

② 基礎を付していない科目から１科目のみを受験している場合，その得点

③ 基礎を付した科目から２科目及び基礎を付していない科目から１科目を受験している場合，いずれか高い方の得点

④ 基礎を付していない科目から２科目を受験している場合，第１解答科目の得点

ウ　「外国語」の科目のうち「英語」については，「リーディング」（100 点）及び「リスニング」（100 点）を，次のとおり換算します。

枠	リーディング	リスニング	合計
経営志向枠	80 点満点	20 点満点	100 点満点
応用情報志向枠	160 点満点	40 点満点	200 点満点

エ　経営志向枠における「数学」において，２科目を受験している場合は，指定した科目のうち，最高得点の科目の得点を採用します。

オ　経営志向枠において「５教科６科目」となるのは，「理科」において，基礎を付した科目（２科目を必ず選択解答）を選択した場合のみです。

カ　応用情報志向枠において「５教科７科目」となるのは，「理科」において，基礎を付した科目（２科目を必ず選択解答）を選択した場合のみです。

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
総合問題A	課題文や資料（論説・記事・説明文等の文章，図表・グラフ・数式等）をもとに，理解力，読解力，論理的思考力，文章表現力などを見るための設問を行い，これらを総合的に判断し，点数化して評価します。英語による課題文を含みます。
総合問題B（ア）	課題文や資料（論説・記事・説明文等の文章，図表・グラフ・数式等）をもとに，理解力，読解力，論理的思考力，文章表現力などを見るための設問を行い，これらを総合的に判断し，点数化して評価します。出題範囲は，数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A及び数学B（数列，ベクトル）とします。

■　加点対象

・　県立広島大学・地域への志向性（５点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と，本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

■ 地域創生学部　地域創生学科　健康科学コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程（定員）	試験区分	教科名	科目名	配点 科目配点	配点 区分合計	配点 総合計
前期（20）	大学入学共通テスト【５教科６科目（又は7科目）】	国語	国語	100	800	1,000
		地理歴史 公民	世界史A，世界史B，日本史A，日本史B，地理A，地理B，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」　から１科目	100		
		数学	数学Ⅰ，数学Ⅰ・数学A，数学Ⅱ，数学Ⅱ・数学B，簿記・会計，情報関係基礎　から１科目	200		
		理科	①又は② ①　物理基礎，化学基礎，生物基礎　から２科目及び物理，化学，生物　から１科目 ②　物理，化学，生物　から２科目	200		
		外国語	英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語　から１科目	200		
	個別学力検査等	総合問題B		200	200	

（大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項）

ア　「地理歴史」,「公民」から１科目を選択する場合において，２科目を受験している場合は，第１解答科目の得点を採用します。

イ　「数学」において，２科目を受験している場合は，指定した科目のうち，最高得点の科目の得点を採用します。

ウ　「理科」において，「①物理基礎，化学基礎，生物基礎から２科目及び物理，化学，生物から１科目」のうち，基礎を付した科目と基礎を付していない科目での同一名称科目の選択は可能です。（例：化学基礎，生物基礎及び化学を選択）

エ　「外国語」の科目のうち「英語」については，「リーディング」（100 点）及び「リスニング」（100 点）の得点を次のとおり換算します。

リーディング	リスニング	合計
160 点満点	40 点満点	200 点満点

オ　「５教科７科目」となるのは，「理科」において，①を選択した場合のみです。

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
総合問題B	課題文や資料（論説・記事・説明文等の文章，図表・グラフ・数式等）をもとに，理解力，読解力，論理的思考力，文章表現力などを見るための設問を行い，これらを総合的に判断し，点数化して評価します。 出題範囲は，化学基礎・生物基礎とします。

■　加点対象

・　県立広島大学・地域への志向性（５点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と，本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は，個別学力検査，大学入学共通テストの理科の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。

■ 地域創生学部　地域創生学科　≪経過選択≫（地域文化コース，地域産業コース共通）

前期日程のコース別募集とは異なり，後期日程では，地域創生学部地域創生学科（地域文化コース及び地域産業コース）の選抜を一括して行います。入学段階でコース（専門）を決めてしまうのではなく，大学入学後，幅広い教養や専門の基礎などに触れながら，学生一人ひとりが抱いた興味や関心，将来像などに基づいて，学びたいコースを主体的に選択する経過選択制を導入しています。なお，各コースには定員が設けてあり，学生本人の希望と入学後の成績などを考慮して，どちらかのコースに２年次後期前半から所属します。

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程（定員）	試験区分	教科名	科目名		配点 科目配点	配点 区分合計	配点 総合計
後期（27）	大学入学共通テスト【３教科４科目又は４教科４科目（若しくは５科目）】	国語	国語		100	400	550
		地理歴史 公民	世界史Ａ，世界史Ｂ，日本史Ａ，日本史Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」　から１科目	から２科目（又は３科目）	(100)		
		数学	数学Ⅰ，数学Ⅰ・数学Ａ　から１科目		(100)		
			数学Ⅱ，数学Ⅱ・数学Ｂ，簿記・会計，情報関係基礎　から１科目		(100)		
		理科	物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎　から２科目 又は物理，化学，生物，地学　から１科目		(100)		
		外国語	英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語　から１科目		100		
	個別学力検査等	総合問題Ａ			150	150	

（大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項）

ア　「地理歴史」，「公民」，「数学」，「理科」において，複数の科目を受験している場合，次の各教科（①及び②，並びに③～⑥のパターン）を比較して，得点の高い順に２科目の得点を採用します。（「理科」において基礎を付した科目（２科目を必ず選択解答）を採用する場合は，他の１科目と合わせて３科目の得点を採用します。）

①「地理歴史」，「公民」においては，第１解答科目の得点

②「数学」においては，その得点

③「理科」において，基礎を付した科目から２科目のみを受験している場合，その得点

④「理科」において，基礎を付していない科目から１科目のみを受験している場合，その得点

⑤「理科」において，基礎を付した科目から２科目及び基礎を付していない科目から１科目を受験している場合，いずれか高い方の得点

⑥「理科」において，基礎を付していない科目から２科目を受験している場合，第１解答科目の得点

イ　「外国語」の科目のうち「英語」については，「リーディング」及び「リスニング」の得点を合計し，表に示した点数に換算します。

ウ　「３教科４科目」となるのは，「数学」において２科目を受験している場合のみです。

エ　「４教科５科目」となるのは，「理科」において，基礎を付した科目（２科目を必ず選択解答）を選択した場合のみです。

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
総合問題Ａ	課題文や資料（論説・記事・説明文等の文章，図表・グラフ・数式等）をもとに，理解力，読解力，論理的思考力，文章表現力などを見るための設問を行い，これらを総合的に判断し，点数化して評価します。 英語による課題文は含みません。

■ 加点対象

・　県立広島大学・地域への志向性（５点満点）

本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と，本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

■ 生物資源科学部　地域資源開発学科

(1)　大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程（定員）	試験区分	教科名	科　目　名	配点 科目配点	配点 区分合計	配点 総合計
前期（14）	大学入学共通テスト【３教科４科目】	数　学	数学Ⅰ，数学Ⅰ・数学A　から１科目	100	600	800
			数学Ⅱ，数学Ⅱ・数学B，簿記・会計，情報関係基礎　から１科目	100		
		理　科	物理，化学，生物，地学　から１科目	200		
		外国語	英語	200		
	個別学力検査等	総合問題A		200	200	

（大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項）

ア　「理科」において，（基礎を付していない）２科目を受験している場合は，第１解答科目の得点を採用し，表に示した点数に換算します。

イ　「外国語」の科目のうち「英語」については，「リーディング」（100 点）及び「リスニング」（100 点）を，次のとおり換算します。

リーディング	リスニング	合計
160 点満点	40 点満点	200 点満点

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
総合問題A	課題文や資料（論説・記事・説明文等の文章，図表・グラフ・数式等）をもとに，理解力，読解力，論理的思考力，文章表現力などを見るための設問を行い，これらを総合的に判断し，点数化して評価します。 英語による課題文は含みません。

■　加点対象

・　県立広島大学・地域への志向性（５点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と，本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

■ 生物資源科学部　生命環境学科　生命科学コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程(定員)	試験区分	教科名	科　目　名	配点 科目配点	配点 区分合計	配点 総合計
前期(23)	大学入学共通テスト【５教科７科目】	国　語	国語	200	900	1,200
		地理歴史 公　民	世界史A，世界史B，日本史A，日本史B，地理A，地理B，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」　から１科目	100		
		数　学	数学Ⅰ，数学Ⅰ・数学A　から１科目	100		
			数学Ⅱ，数学Ⅱ・数学B，簿記・会計，情報関係基礎　から１科目	100		
		理　科	物理，化学，生物，地学　から２科目	200		
		外国語	英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語　から１科目	200		
	個別学力検査等	総合問題Ｂ（ア）		100	300	
		総合問題Ｂ（イ）		200		

（大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項）

ア　「地理歴史」，「公民」から１科目を選択する場合において，２科目を受験している場合は，第１解答科目の得点を採用します。

イ　「外国語」の科目のうち「英語」については，「リーディング」（100 点）及び「リスニング」（100 点）を，次のとおり換算します。

リーディング	リスニング	計
160 点満点	40 点満点	200 点満点

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
総合問題Ｂ	課題文や資料（論説・記事・説明文等の文章，図表・グラフ・数式等）をもとに，理解力，読解力，論理的思考力，文章表現力などを見るための設問を行い，これらを総合的に判断し，点数化して評価します。 出題範囲は次のとおりです。 総合問題Ｂ（ア）　数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A及び数学B（数列，ベクトル） 総合問題Ｂ（イ）　次の範囲に係る総合問題から１つを選択して解答します。 ①物理基礎・物理　②化学基礎・化学　③生物基礎・生物

■　**加点対象**

・　県立広島大学・地域への志向性（５点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と，本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

■ 生物資源科学部　生命環境学科　環境科学コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程(定員)	試験区分	教科名	科目名	配点 科目配点	配点 区分合計	配点 総合計
前期(23)	大学入学共通テスト【５教科７科目】	国語	国語	200	900	1,200
		地理歴史 公民	世界史A，世界史B，日本史A，日本史B，地理A，地理B，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」　から１科目	100		
		数学	数学Ⅰ，数学Ⅰ・数学A　から１科目	100		
			数学Ⅱ，数学Ⅱ・数学B，簿記・会計，情報関係基礎　から１科目	100		
		理科	物理，化学，生物，地学　から２科目	200		
		外国語	英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語　から１科目	200		
	個別学力検査等	総合問題Ｂ（ア）		100	300	
		総合問題Ｂ（イ）		200		

（大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項）

ア　「地理歴史」，「公民」から１科目を選択する場合において，２科目を受験している場合は，第１解答科目の得点を採用します。

イ　「外国語」の科目のうち「英語」については，「リーディング」（100 点）及び「リスニング」（100 点）を，次のとおり換算します。

リーディング	リスニング	計
160 点満点	40 点満点	200 点満点

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
総合問題Ｂ	課題文や資料（論説・記事・説明文等の文章，図表・グラフ・数式等）をもとに，理解力，読解力，論理的思考力，文章表現力などを見るための設問を行い，これらを総合的に判断し，点数化して評価します。 出題範囲は次のとおりです。 総合問題B（ア）　数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A及び数学B（数列，ベクトル） 総合問題B（イ）　次の範囲に係る総合問題から１つを選択して解答します。 ①物理基礎・物理　②化学基礎・化学　③生物基礎・生物

■ 加点対象

・ 県立広島大学・地域への志向性（５点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と，本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

■ 生物資源科学部　生命環境学科　≪経過選択≫（生命科学コース，環境科学コース共通）

前期日程のコース別募集とは異なり，後期日程では，生物資源科学部生命環境学科（生命科学コース及び環境科学コース）の選抜を一括して行います。入学の時点でコース（専門）を決めてしまうのではなく，大学入学後，幅広い教養や専門の基礎などに触れながら，学生一人ひとりが抱いた興味や関心，将来像などに基づいて，学びたいコースを主体的に選択する経過選択制を導入しています。なお，各コースには定員が設けてあり，学生本人の希望と入学後の成績などを考慮して，どちらかのコースに２年次第３クォーター（後期前半）から所属します。

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程（定員）	試験区分	教科名	科目名	配点 科目配点	配点 区分合計	配点 総合計
後期（20）	大学入学共通テスト【５教科７科目】	国語	国語	200	900	1,200
		地理歴史 公民	世界史A，世界史B，日本史A，日本史B，地理A，地理B，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」　から１科目	100		
		数学	数学Ⅰ，数学Ⅰ・数学A　から１科目	100		
			数学Ⅱ，数学Ⅱ・数学B，簿記・会計，情報関係基礎　から１科目	100		
		理科	物理，化学，生物，地学　から２科目	200		
		外国語	英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語　から１科目	200		
	個別学力検査等	総合問題A		75	300	
		総合問題B（ア）		75		
		総合問題B（イ）		150		

（大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項）

ア　「地理歴史」，「公民」から１科目を選択する場合において，２科目を受験している場合は，第１解答科目の得点を採用します。

イ　「外国語」の科目のうち「英語」については，「リーディング」（100 点）及び「リスニング」（100 点）を，次のとおり換算します。

リーディング	リスニング	計
160 点満点	40 点満点	200 点満点

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
総合問題	課題文や資料（論説・記事・説明文等の文章，図表・グラフ・数式等）をもとに，理解力，読解力，論理的思考力，文章表現力などを見るための設問を行い，これらを総合的に判断し，点数化して評価します。 出題範囲は次のとおりです。 総合問題A　　英語による課題文を含みます。 総合問題B（ア）　数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A及び数学B（数列，ベクトル） 総合問題B（イ）　次の範囲に係る総合問題から１つを選択して解答します。 ①物理基礎・物理　②化学基礎・化学　③生物基礎・生物

■ 加点対象

・ 県立広島大学・地域への志向性（５点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と，本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は合格とします。

■ 保健福祉学部　保健福祉学科　看護学コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程（定員）	試験区分	教科名	科目名	配点 科目配点	配点 区分合計	配点 総合計
前期（31）	大学入学共通テスト【５教科５科目（又は６科目）】	国語	国語	200	800	1,000
		地理歴史 公民	世界史A，世界史B，日本史A，日本史B，地理A，地理B，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」　から１科目	100		
		数学	数学Ⅰ・数学A，数学Ⅱ，数学Ⅱ・数学B　から１科目	200		
		理科	物理基礎，化学基礎，生物基礎　から２科目 又は物理，化学，生物　から１科目	100		
		外国語	英語	200		
	個別学力検査等	面接		200	200	
後期（6）	大学入学共通テスト【５教科５科目（又は６科目）】	国語	国語	200	800	1,000
		地理歴史 公民	世界史A，世界史B，日本史A，日本史B，地理A，地理B，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」　から１科目	100		
		数学	数学Ⅰ・数学A，数学Ⅱ，数学Ⅱ・数学B　から１科目	200		
		理科	物理基礎，化学基礎，生物基礎　から２科目 又は物理，化学，生物　から１科目	100		
		外国語	英語	200		
	個別学力検査等	面接		200	200	

（大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項）

ア 「地理歴史」，「公民」から１科目を選択する場合において，２科目を受験している場合は，第１解答科目の得点を採用します。

イ 「数学」においては，表に示した点数に換算します。２科目を受験している場合は，指定した科目のうち，いずれか高い方の得点を採用します。

ウ 「理科」の選択において，指定した科目のうち，次の得点を採用します。

①基礎を付した科目から２科目のみを受験している場合，その得点

②基礎を付していない科目から１科目のみを受験している場合，その得点

③基礎を付した科目から２科目及び基礎を付していない科目から１科目を受験している場合，いずれか高い方の得点

④基礎を付していない科目から２科目を受験している場合，第１解答科目の得点

エ 「外国語」の科目のうち「英語」については，「リーディング」及び「リスニング」の得点を合計し，表に示した点数に換算します。

オ 「５教科６科目」となるのは，「理科」において，基礎を付した科目（２科目を必ず選択解答）を選択した場合のみです。

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
面接	志望理由書とあわせて，本コースで学ぶことへの意欲と志向，高校生活における活動などについて質問します。さらに，判断力・思考力，コミュニケーション力，協働性，倫理観などを総合的に判断し，点数化して評価します。

■ 加点対象

・ 県立広島大学・地域への志向性（５点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と，本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は，面接，大学入学共通テストの外国語，数学，国語の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。 ただし，面接の得点が一定基準以下の場合は不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部　保健福祉学科　理学療法学コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程 (定員)	試験区分	教科名	科　目　名	配点 科目配点	配点 区分合計	配点 総合計
前期 (15)	大学入学 共通テスト 【５教科６科目 (又は７科目)】	国　語	国語	200	800	1,000
		地理歴史 公　民	世界史A，世界史B，日本史A，日本史B，地理A，地理B， 現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」　から１科目	100		
		数　学	数学Ⅰ・数学A	100		
			数学Ⅱ，数学Ⅱ・数学B　から１科目	100		
		理　科	物理基礎，化学基礎，生物基礎　から２科目 又は物理，化学，生物　から１科目	100		
		外国語	英語	200		
	個別学力検査等	面接		200	200	
後期 (3)	大学入学 共通テスト 【５教科６科目 (又は７科目)】	国　語	国語	200	800	1,000
		地理歴史 公　民	世界史A，世界史B，日本史A，日本史B，地理A，地理B， 現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」　から１科目	100		
		数　学	数学Ⅰ・数学A	100		
			数学Ⅱ，数学Ⅱ・数学B　から１科目	100		
		理　科	物理基礎，化学基礎，生物基礎　から２科目 又は物理，化学，生物　から１科目	100		
		外国語	英語	200		
	個別学力検査等	面接		200	200	

（大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項）

ア 「地理歴史」，「公民」から１科目を選択する場合において，２科目を受験している場合は，第１解答科目の得点を採用します。

イ 「理科」の選択において，指定した科目のうち，次の得点を採用します。

①基礎を付した科目から２科目のみを受験している場合，その得点

②基礎を付していない科目から１科目のみを受験している場合，その得点

③基礎を付した科目から２科目及び基礎を付していない科目から１科目を受験している場合，いずれか高い方の得点

④基礎を付していない科目から２科目を受験している場合，第１解答科目の得点

ウ 「外国語」の科目のうち「英語」については，「リーディング」及び「リスニング」の得点を合計し，表に示した点数に換算します。

エ 「５教科７科目」となるのは，「理科」において，基礎を付した科目（２科目を必ず選択解答）を選択した場合のみです。

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区　分	内容及び採点・評価の基準
面　接	志望理由書とあわせて，本コースで学ぶことへの意欲と志向や高校生活における活動，リハビリテーション領域の社会的問題などについて質問します。さらに，理学療法士として主体性と協働性を兼ね備え，チームで活動できる人材として望まれる態度，表現力，判断力などを総合的に判断し，点数化して評価します。

■ 加点対象

・ 県立広島大学・地域への志向性（５点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と，本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は，面接，大学入学共通テストの外国語，数学，国語の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。 ただし，面接の得点が一定基準以下の場合は不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部　保健福祉学科　作業療法学コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程(定員)	試験区分	教科名	科目名	配点 科目配点	配点 区分合計	配点 総合計
前期(15)	大学入学共通テスト【５教科６科目(又は７科目)】	国語	国語	200	800	1,000
		地理歴史 公民	世界史A，世界史B，日本史A，日本史B，地理A，地理B，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」　から１科目	100		
		数学	数学Ⅰ・数学A	100		
			数学Ⅱ，数学Ⅱ・数学B　から１科目	100		
		理科	物理基礎，化学基礎，生物基礎　から２科目 又は物理，化学，生物　から１科目	100		
		外国語	英語	200		
	個別学力検査等	面接		200	200	
後期(3)	大学入学共通テスト【５教科６科目(又は７科目)】	国語	国語	200	800	1,000
		地理歴史 公民	世界史A，世界史B，日本史A，日本史B，地理A，地理B，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」　から１科目	100		
		数学	数学Ⅰ・数学A	100		
			数学Ⅱ，数学Ⅱ・数学B　から１科目	100		
		理科	物理基礎，化学基礎，生物基礎　から２科目 又は物理，化学，生物　から１科目	100		
		外国語	英語	200		
	個別学力検査等	面接		200	200	

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

ア　「地理歴史」,「公民」から１科目を選択する場合において，２科目を受験している場合は，第１解答科目の得点を採用します。

イ　「理科」の選択において，指定した科目のうち，次の得点を採用します。

①基礎を付した科目から２科目のみを受験している場合，その得点

②基礎を付していない科目から１科目のみを受験している場合，その得点

③基礎を付した科目から２科目及び基礎を付していない科目から１科目を受験している場合，いずれか高い方の得点

④基礎を付していない科目から２科目を受験している場合，第１解答科目の得点

ウ　「外国語」の科目のうち「英語」については，「リーディング」及び「リスニング」の得点を合計し，表に示した点数に換算します。

エ　「５教科７科目」となるのは，「理科」において，基礎を付した科目（２科目を必ず選択回答）を選択した場合のみです。

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区分	内容及び採点・評価の基準
面接	志望理由書とあわせて，本コースで学ぶことへの意欲と志向，高校生活における活動などについて質問します。さらに，作業療法に携わる人材として望まれる態度，積極性，理解力，表現力及び明確な目的意識などを総合的に判断し，点数化して評価します。

■　加点対象

・　県立広島大学・地域への志向性（５点満点）

本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と，本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は，面接，大学入学共通テストの国語，数学，外国語の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。 ただし，面接の得点が一定基準以下の場合は不合格とすることがあります。

■ 保健福祉学部　保健福祉学科　コミュニケーション障害学コース

(1)　大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程（定員）	試験区分	教科名	科　目　名	配点 科目配点	配点 区分合計	配点 総合計
前期（15）	大学入学共通テスト【５教科６科目（又は７科目）】	国　語	国語	200	800	1,000
		地理歴史 公　民	世界史A，世界史B，日本史A，日本史B，地理A，地理B，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」　から１科目	100		
		数　学	数学Ⅰ・数学A	100		
			数学Ⅱ，数学Ⅱ・数学B　から１科目	100		
		理　科	物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎　から２科目 又は物理，化学，生物，地学　から１科目	100		
		外国語	英語	200		
	個別学力検査等	面接		200	200	
後期（3）	大学入学共通テスト【３教科３科目】	国　語	国語	200	500	600
		数　学	数学Ⅰ・数学A	100		
		外国語	英語	200		
	個別学力検査等	面接		100	100	

（大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項）

ア　「地理歴史」，「公民」から１科目を選択する場合において，２科目を受験している場合は，第１解答科目の得点を採用します。

イ　「理科」の選択において，指定した科目のうち，次の得点を採用します。

①基礎を付した科目から２科目のみを受験している場合，その得点

②基礎を付していない科目から１科目のみを受験している場合，その得点

③基礎を付した科目から２科目及び基礎を付していない科目から１科目を受験している場合，いずれか高い方の得点

④基礎を付していない科目から２科目を受験している場合，第１解答科目の得点

ウ　「外国語」の科目のうち「英語」については，「リーディング」及び「リスニング」の得点を合計し，表に示した点数に換算します。

エ　前期日程において，「５教科７科目」となるのは，「理科」において，基礎を付した科目（２科目を必ず選択解答）を選択した場合のみです。

(2)　個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区　分	内容及び採点・評価の基準
面　接	志望理由書とあわせて，本コースで学ぶことへの意欲と志向，言語聴覚士についての理解，高校生活における活動などについて質問します。さらに，対人援助職である言語聴覚士として望まれる態度，思考力，判断力，表現力などを総合的に判断し，点数化して評価します。

■　加点対象

・　県立広島大学・地域への志向性（５点満点）

本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

(3)　合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と，本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は，大学入学共通テストの得点が高い順に合格とします。ただし，面接の得点が一定基準以下の場合は不合格とすることがあります。

■　保健福祉学部　保健福祉学科　人間福祉学コース

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程(定員)	試験区分	教科名	科目名		配点 科目配点	配点 区分合計	配点 総合計
前期(21)	大学入学共通テスト【3教科3科目(又は4科目)】	国語	国語		200	600	1,000
		地理歴史公民	世界史A，世界史B，日本史A，日本史B，地理A，地理B，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」　から1科目	から	(200)		
		数学	数学Ⅰ，数学Ⅰ・数学A，数学Ⅱ，数学Ⅱ・数学B，簿記・会計，情報関係基礎　から1科目	1教科	(200)		
		理科	物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎　から2科目又は物理，化学，生物，地学　から1科目		(200)		
		外国語	英語		200		
	個別学力検査等	総合問題A			200	400	
		面接			200		
後期(4)	大学入学共通テスト【3教科3科目(又は4科目)】	国語	国語		200	600	1,000
		地理歴史公民	世界史A，世界史B，日本史A，日本史B，地理A，地理B，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」　から1科目	から	(200)		
		数学	数学Ⅰ，数学Ⅰ・数学A，数学Ⅱ，数学Ⅱ・数学B，簿記・会計，情報関係基礎　から1科目	1教科	(200)		
		理科	物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎　から2科目又は物理，化学，生物，地学　から1科目		(200)		
		外国語	英語		200		
	個別学力検査等	総合問題A			200	400	
		面接			200		

(大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項)

ア　「地理歴史」,「公民」,「数学」,「理科」において，複数の科目を受験している場合，次の各教科（①及び②，並びに③～⑥のパターン）を比較して最高得点となる教科の得点を採用し，表に示した点数に換算します。

①「地理歴史」,「公民」においては，第1解答科目の得点

②「数学」においては，最高得点の科目の得点

③「理科」において，基礎を付した科目から2科目のみを受験している場合，その得点

④「理科」において，基礎を付していない科目から1科目のみを受験している場合，その得点

⑤「理科」において，基礎を付した科目から2科目及び基礎を付していない科目から1科目を受験している場合，いずれか高い方の得点

⑥「理科」において，基礎を付していない科目から2科目を受験している場合，第1解答科目の得点

イ　「外国語」の科目のうち「英語」については，「リーディング」及び「リスニング」の得点を合計し，表に示した点数に換算します。

ウ　「3教科4科目」となるのは，「理科」において，基礎を付した科目（2科目を必ず選択解答）を選択した場合のみです。

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

科目	内容及び採点・評価の基準
総合問題A	課題文や資料（論説・記事・説明文等の文章，図表・グラフ・数式等）をもとに，理解力，読解力，論理的思考力，文章表現力などを見るための設問を行い，これらを総合的に判断し，点数化して評価します。 英語による課題文は含みません。
面接	志望理由書とあわせて，福祉に対する興味，学修意欲などについて質問し，判断力，表現力，論理的思考力，理解力などを総合的に判断し，点数化して評価します。

■　加点対象

・　県立広島大学・地域への志向性（5点満点）
　本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大5点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と，本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は，面接，大学入学共通テストの外国語，国語，選択した科目の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。

■　保健福祉学部　保健福祉学科　≪コース選択≫（保健福祉学部　保健福祉学科　共通）

前期日程の中に新たに「コース選択枠」を設けます。保健福祉学部保健福祉学科に入学後，大学での学びを経験しながら各自の興味や関心に基づいてコースを選択したいという学生を受け入れる募集枠です。本枠の学生は，１年次前期期間中に教養科目や専門基礎系科目を履修しながら希望コースを決定し，１年次後期から自ら選択したコースに所属して専門の学びを深めていきます。

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等の教科・科目と配点

日程（定員）	試験区分	教科名	科　目　名	配点 科目配点	配点 区分合計	配点 総合計
前期（6）	大学入学共通テスト【５教科６科目（又は７科目）】	国　語	国語	200	800	1,000
		地理歴史 公　民	世界史A，世界史B，日本史A，日本史B，地理A，地理B，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」　から１科目	100		
		数　学	数学Ⅰ・数学A	100		
			数学Ⅱ，数学Ⅱ・数学B　から１科目	100		
		理　科	物理基礎，化学基礎，生物基礎　から２科目 又は物理，化学，生物　から１科目	100		
		外国語	英語	200		
	個別学力検査等	面接		200	200	

（大学入学共通テストの利用教科・科目における留意事項）

ア　「地理歴史」，「公民」から１科目を選択する場合において，２科目を受験している場合は，第１解答科目の得点を採用します。

イ　「理科」の選択において，指定した科目のうち，次の得点を採用します。

①基礎を付した科目から２科目のみを受験している場合，その得点

②基礎を付していない科目から１科目のみを受験している場合，その得点

③基礎を付した科目から２科目及び基礎を付していない科目から１科目を受験している場合，いずれか高い方の得点

④基礎を付していない科目から２科目を受験している場合，第１解答科目の得点

ウ　「外国語」の科目のうち「英語」については，「リーディング」及び「リスニング」の得点を合計し，表に示した点数に換算します。

エ　「５教科７科目」となるのは，「理科」において，基礎を付した科目（２科目を必ず選択解答）を選択した場合のみです。

(2) 個別学力検査等の内容及び採点・評価の基準

区　分	内容及び採点・評価の基準
面　接	志望理由書とあわせて，本学科で学ぶことへの意欲と志向，高校生活における活動などについて質問します。さらに，理解力，判断力，論理的思考力，本学科が育成する分野への適性などを総合的に判断し，点数化して評価します。

■　加点対象

・　県立広島大学・地域への志向性（５点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

(3) 合否判定基準

合否判定基準
大学入学共通テストの得点と，本学が行う個別学力検査等の得点及び「県立広島大学・地域への志向性」による加点の合計点で合否を判定します。 合格最低点での同点者は，面接，大学入学共通テストの外国語，数学，国語の順に各教科・科目等の得点が高い順に合格とします。 ただし，面接の得点，又は総得点が一定基準以下の場合は不合格とすることがあります。

7　学校推薦型選抜

学部・学科・コース共通事項

(1) 出願資格

各学部・学科・コースごとに定めるすべての要件を満たす者とします。

出願にあたっては，令和６年度学校推薦型選抜学生募集要項を必ず確認してください。

(2) 選抜方法

各学部・学科・コースごとに定める試験科目及び書類審査等の結果を総合して行います。

原則，令和６年度大学入学共通テストの受験は免除とします。

ただし，地域創生学部地域創生学科健康科学コースについては，合否判定に利用するため，下記の表に指定する教科・科目の受験が必要です。

■　地域創生学部地域創生学科健康科学コース**＜合否判定に利用します＞**

募集区分	大学入学共通テストの利用教科・科目	
	教科	科目等
県内高等学校等推薦	理科	①又は② ① 物理基礎，化学基礎，生物基礎から２科目 及び 物理，化学，生物から１科目 ② 物理，化学，生物から２科目
県内専門高等学校等推薦		物理基礎，化学基礎，生物基礎から２科目

※　「理科」において，「①物理基礎，化学基礎，生物基礎から２科目及び物理，化学，生物から１科目」のうち，基礎を付した科目と基礎を付していない科目での同一名称科目の選択は可能です。（例：化学基礎，生物基礎及び化学を選択）

(3) 「主体性・協働性」の評価

学校推薦型選抜では，「主体性・協働性」は，高等学校等における学びの履歴について，調査書を中心として評価することとし，得点化（５点満点）を行います。詳細は１ページを確認してください。

(4) 「県立広島大学・地域への志向性」の評価

本学が掲げる「課題探究型地域創生人材」育成の観点から，これまでの取組で考えたことなどを受験者が記載した，評価申請書（提出は任意）に基づき，最大５点までの範囲で加点方式により評価します。詳細は１ページを確認してください。

(5) 個別学力検査等の試験場

学部	試験場
地域創生学部	県立広島大学広島キャンパス
生物資源科学部	県立広島大学庄原キャンパス
保健福祉学部	県立広島大学三原キャンパス

■　地域創生学部　地域創生学科　地域文化コース

(1) 出願要件

出願する者は，次の各号のいずれにも該当することが必要です。

なお，「県内高等学校等推薦」は，広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者とし，「県外高等学校等推薦」は，広島県外の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者とします。

①　令和５年４月１日以降に高等学校等を卒業した者又は令和６年３月 31 日までにこれを卒業する見込みである者のうち，次の１又は２のいずれかに該当する者で，次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

1　高等学校等の普通科若しくは外国語に関する学科若しくは国際関係に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者

2　高等学校等の総合学科若しくは理数に関する学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち，国語，外国語及び国際理解に関する教科・科目の単位を 30 単位以上修得した者又は修得する見込みである者

募集区分（定員）		要　　件
一般枠	県内高等学校等推薦（8）	上記①に該当する者で，次に定める要件をすべて満たす者であること。 ②　学校長が適性，意欲及び人物について，責任をもって推薦できる者であること。 ③　調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者であること。 ④　合格した場合，本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部，転学科及び転コースは，原則，許可しない。）
	県外高等学校等推薦（2）	
異文化体験枠	県内高等学校等推薦（8）	上記①に該当する者で，次に定める要件をすべて満たす者であること。 ②　調査書の「国語」，「地理歴史」又は「公民」（いずれか学習成績の状況が高い方），「外国語」の３教科の学習成績の状況（注１）が 4.0 以上の者であること。 ③　高校入学後，国内又は国外において顕著な異文化体験（国内での国際交流や海外研修等）を有する者であること。（注２） ④　学校長が高校入学後の異文化体験と語学能力，意欲及び人物について，責任をもって推薦できる者であること。 ⑤　合格した場合，本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部，転学科及び転コースは，原則，許可しない。） （注１）文部科学省が定めている，「全体の学習成績の状況」の算出方法に準じます。 （注２）新型コロナウイルス感染症の影響により，予定していた海外研修や外国からの留学生の受入れ等が中止となった場合は，その経緯に加え，本人の主体的な努力や異文化体験への意欲（異文化体験の準備を通して学んだことや，予定していた異文化体験を今後のどのような学びにつなげる予定だったかなど）を調査書および学修計画書に記載することで，出願を認めます。 （注３）「異文化体験枠」では，出願要件として，「実用英語技能検定」（英検）等の，語学資格・検定試験の結果の提出を必須とする予定でしたが，令和６年度入学者選抜においては，新型コロナウイルス感染症の拡大による各種語学資格・検定試験の中止や延期に伴い，語学資格・検定試験の結果の提出は不要とします。（ただし，面接の際の参考資料として任意で提出を認めます。）
	県外高等学校等推薦（2）	

(2) 推薦人員

県内高等学校等推薦	一　般　枠	１学校当たり２人まで
	異文化体験枠	１学校当たり２人まで
県外高等学校等推薦	一　般　枠	１学校当たり１人
	異文化体験枠	１学校当たり１人

(3) 試験科目・配点，内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準
一般枠 県内・県外 高等学校等 推薦 共通	小　論　文	140	論理的な思考力，独創性，読解力，基本的な文章の表現力，記述力などについて総合的に判断し，点数化して評価します。
	学修計画書に関する面接	60	おもに出願時に提出された学修計画書（A4 判２枚）に基づいて，地域文化コースで学ぶことに対する意欲や目的意識等について質問し，応答の内容・態度，目的意識の高さなどを総合的に判断し，点数化して評価します。
異文化体験枠 県内・県外 高等学校等 推薦 共通	小　論　文	100	論理的な思考力，独創性，読解力，基本的な文章の表現力，記述力などについて総合的に判断し，点数化して評価します。
	学修計画書に関する面接	100	おもに出願時に提出された学修計画書（A4 判２枚）に基づいて，高等学校等入学後の国内における国際交流活動又は海外留学・研修などの異文化体験から何を学んだのか，それを活かして地域文化コースで何を学ぼうとしているのかについて質問し，論理的な思考力，表現力，異文化理解に対する目的意識の高さ，コミュニケーション能力などについて総合的に判断し，点数化して評価します。※令和６年度入学者選抜においては，予定していた異文化体験が中止になった場合においても，出願を認めています。（詳細は，上記「(1)出願要件」を確認してください。） なお，次の語学資格・検定試験および同様の試験の証明書やスコアは面接の際の参考資料として提出を認めます。また，英検など合否で結果が出る試験において，一次試験に合格し，二次試験を棄権する又は不合格となった場合等でも，本人の外国語学習への意欲を示す事項として調査書に記載することを認めます。 【実用英語技能検定（英検），TOEIC L&R®，TOEFL®，TEAP，GTEC，韓国語能力試験，中国語検定】

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準
募集区分共通	調　査　書	5	主体性や協働性について，高等学校における学びの履歴等を点数化して最大５点までの範囲で評価します。評価対象は次の項目とします。 「5．総合的な学習の時間の内容・評価」 「6．特別活動の記録」 「7．指導上参考となる諸事項」 いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。 ※ 上記の項目について，新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業や大会，資格・検定試験等の中止により記載できない場合は，その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を，「８．備考」の欄に補足として，具体的に記載してください。

■ **加点対象**

・ 県立広島大学・地域への志向性（５点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

募集区分	合否判定基準
一　般　枠 【募集区分共通】	小論文及び学修計画書に関する面接の得点と，出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は，「小論文」の得点の高い順に合格とします。
異文化体験枠 【募集区分共通】	小論文及び学修計画書に関する面接の得点と，出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は，「学修計画書に関する面接」の得点の高い順に合格とします。

■ 地域創生学部　地域創生学科　地域産業コース

(1) 出願要件

出願する者は，次の各号のいずれにも該当することが必要です。

① 令和５年４月１日以降に高等学校等を卒業した者，若しくは高等専門学校第３学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し，若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者，又は令和６年３月 31 日までにこれらを卒業し，若しくは修了する見込みである者のうち，次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）		要　　件
県内 高等学校等 推薦	経営志向枠 （16）	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第３学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
	応用情報志向枠 （10）	
県内専門 高等学校等 推薦	経営志向枠 （2）	次のいずれかに該当する者 １　広島県内の高等学校等の商業に関する学科を卒業した者又は卒業する見込みである者 ２　広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち，商業に関する教科・科目の単位を 20 単位以上修得した者又は修得する見込みである者
	応用情報志向枠 （1）	次のいずれかに該当する者 １　広島県内の高等学校等の商業に関する学科を卒業した者又は卒業する見込みである者 ２　広島県内の高等学校等の工業に関する学科を卒業した者又は卒業する見込みである者（注） ３　広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち，商業に関する教科・科目の単位を 20 単位以上修得した者又は修得する見込みである者 ４　広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち，工業に関する教科・科目の単位を 20 単位以上修得した者又は修得する見込みである者（注） （注）ただし，上記２又は４に該当する者にあっては，「工業技術基礎」，「工業数理基礎」及び「情報技術基礎」のうち２科目以上履修している者に限る。
全国 高等学校等 推薦	経営志向枠 （4）	次のいずれかに該当する者 １　広島県内を含めた全国の高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 ２　広島県内を含めた全国の高等専門学校第３学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し，若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者
	応用情報志向枠 （3）	

② 県内高等学校等推薦及び全国高等学校等推薦については，調査書の全体の学習成績の状況が 3.7 以上の者であること。
県内専門高等学校等推薦については，調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者であること。

③ 学校長が学業成績，適性，意欲及び人物について，責任をもって推薦できる者であること。

④ 合格した場合，本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部，転学科及び転コースは，原則，許可しない。）

(2) 推薦人員

① 経営志向枠　　１学校当たり２人まで
② 応用情報志向枠　１学校当たり２人まで

(3) 試験科目・配点，内容及び採点・評価の基準

<table>
<tr><th>募集区分</th><th>科目</th><th>配点</th><th>内容及び採点・評価の基準</th></tr>
<tr><td rowspan="2">経営
志向枠</td><td>小　論　文</td><td>100</td><td>論文・評論等を題材とする問題で，大学で経営学を学ぶ上での基本的な理解力，論理的思考力及び文章表現力などを総合的に判断し，点数化して評価します。</td></tr>
<tr><td>面　　接</td><td>80</td><td>経営を学ぶことに対する志望動機・意欲，高校生活及び日ごろ興味を持っていること，地域社会が抱える様々な課題への関心とその課題解決への熱意・意欲，海外留学経験などについて質問し，これらに対する応答の能力や内容等を総合的に判断し，点数化して評価します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">応用情報
志向枠</td><td>小　論　文</td><td>100</td><td>論文・評論等を題材とする問題で，大学で応用情報学を学ぶ上での基本的な理解力，論理的思考力及び文章表現力などを総合的に判断し，点数化して評価します。</td></tr>
<tr><td>面　　接</td><td>80</td><td>応用情報を学ぶことに対する志望動機・意欲，高校生活及び日ごろ興味を持っていること，地域社会が抱える様々な課題への関心とその課題解決への熱意・意欲，海外留学経験などについて質問し，これらに対する応答の能力や内容等を総合的に判断し，点数化して評価します。</td></tr>
<tr><td>募集区分
共通</td><td>調　査　書</td><td>5</td><td>主体性や協働性について，高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。
<table>
<tr><th>調査書での該当する記載欄</th><th>評価基準又は高い評価となる例</th></tr>
<tr><td>「6. 特別活動の記録」</td><td rowspan="2">いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。</td></tr>
<tr><td>「7. 指導上参考となる諸事項」</td></tr>
</table>
※ 上記の項目について，新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業や大会，資格・検定試験等の中止により記載できない場合は，その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を，「8．備考」の欄に補足として，具体的に記載してください。</td></tr>
</table>

■ **加点対象**

募集区分共通

・ 県立広島大学・地域への志向性（５点満点）

本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

応用情報志向枠　県内専門高等学校等推薦のみ

・ 対象資格の取得

対象資格（※）の取得者には最大 20 点の範囲で加点を行います。ただし，高等学校在学中に取得した資格が対象で，複数の実績がある場合は，最も得点の高い値を採用します。

※ 対象資格及び得点

① 全商情報処理検定　ビジネス情報部門１級とプログラミング部門１級の両部門合格（全国商業高等学校協会主催）　8 点

② 全工情報技術検定１級（全国工業高等学校長協会主催）　8 点

③ 情報処理技術者試験（情報処理推進機構主催）

IT パスポート試験 10 点，　基本情報技術者試験 15 点，　応用情報技術者試験 20 点

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と，出願書類の内容を総合して合否を判定します。

■ 地域創生学部　地域創生学科　健康科学コース

(1) 出願要件

出願する者は，次の各号のいずれにも該当することが必要です。

① 令和５年４月１日以降に高等学校等を卒業した者又は令和６年３月 31 日までにこれを卒業する見込みである者のうち，次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要　　件
県内高等学校等推薦 (9)	広島県内の高等学校等の普通科，国際に関する学科，理数に関する学科若しくは総合学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者
県内専門高等学校等推薦 (2)	次のいずれかに該当する者 1　広島県内の高等学校等の農業に関する学科，家庭に関する学科若しくは体育に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2　広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち，農業に関する学科，家庭に関する学科若しくは体育に関する教科・科目の単位を 20 単位以上修得した者又は修得する見込みである者

② 調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者であること。

③ 学校長が適性，意欲及び人物について，責任をもって推薦できる者であること。

④ 合格した場合，本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部，転学科及び転コースは，原則，許可しない。）

⑤ **令和６年度大学入学共通テストに出願し，理科を受験する者であること。（下記の表を参照）**

(2) 推薦人員

① 県内高等学校等推薦　　１学校当たり２人

② 県内専門高等学校推薦　１学校の各学科から１人

(3) 試験科目・配点，内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準及び配点
県内 高等学校等 推薦	大学入学共通テスト【理科】	200	①又は② ① 物理基礎，化学基礎，生物基礎から２科目　(100 点) 及び 物理，化学，生物から１科目（100 点） ② 物理，化学，生物から２科目（200 点）
	面　　接	200	地域課題に対する関心・探究意欲，高校生活（海外留学経験や課外活動などを含む），健康科学に対する興味・学修意欲，健康科学に関する知識及び理科（化学基礎又は生物基礎のいずれかを選択）に関する基礎的事項について試問し，論理的思考力や理解力を問い，その対応の仕方や内容などを総合的に判断し，点数化して評価します。
県内専門 高等学校等 推薦	大学入学共通テスト【理科】	160	物理基礎，化学基礎，生物基礎から２科目（100 点を 160 点に換算）
	面　　接	240	地域課題に対する関心・探究意欲，高校生活（海外留学経験や課外活動などを含む），健康科学に対する興味・学修意欲，健康科学に関する知識及び理科（化学基礎又は生物基礎のいずれかを選択）に関する基礎的事項について試問し，論理的思考力や理解力を問い，その対応の仕方や内容などを総合的に判断し，点数化して評価します。
募集区分 共通	調　査　書	5	主体性や協働性について，高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。 調査書での該当する記載欄：「5. 総合的な学習の時間の内容・評価」「6. 特別活動の記録」「7. 指導上参考となる諸事項」 評価基準又は高い評価となる例：いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。 ※ 上記の項目について，新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業や大会，資格・検定試験等の中止により記載できない場合は，その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を，「８．備考」の欄に補足として，具体的に記載してください。

※ 「理科」において，「①物理基礎，化学基礎，生物基礎から２科目及び物理，化学，生物から１科目」のうち，基礎を付した科目と基礎を付していない科目での同一名称科目の選択は可能です。（例：化学基礎，生物基礎及び化学を選択）

■ 加点対象

・ 県立広島大学・地域への志向性（５点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
面接及び大学入学共通テストの得点と，出願書類の内容を総合して合否を判定します。

■ 生物資源科学部　地域資源開発学科

(1) 出願要件

出願する者は，次の各号のいずれにも該当することが必要です。

① 令和５年４月１日以降に高等学校等を卒業した者，若しくは高等専門学校第３学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し，若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者，又は令和６年３月 31 日までにこれらを卒業し，若しくは修了する見込みである者のうち，次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）		要　件
県内高等学校等推薦 (4)		広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第３学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門 高等学校等推薦	農　業 (4)	次のいずれかに該当する者 １　広島県内の高等学校等の農業に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 ２　広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち，農業に関する教科・科目の単位を 20 単位以上修得した者
	商業・工業 (2)	次のいずれかに該当する者 １　広島県内の高等学校等の工業若しくは商業に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 ２　広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち，工業に関する教科・科目の単位を 20 単位以上修得した者若しくは修得する見込みである者又は商業に関する教科・科目の単位を 20 単位以上修得した者又は修得する見込みである者
全国高等学校等推薦 (5)		次のいずれかに該当する者 １　広島県内を含めた全国の高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 ２　広島県内を含めた全国の高等専門学校第３学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し，若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

② 学校長が学業成績，適性，意欲及び人物について，責任をもって推薦できる者であること。

③ 合格した場合，本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部及び転学科は，原則，許可しない。）

(2) 推薦人員

募集区分ごとに，１学校当たり２人まで（ただし，４人を上限とする。）

(3) 試験科目・配点，内容及び採点・評価の基準

募集区分	科目	配点	内容及び採点・評価の基準及び配点
募集区分 共　通	小　論　文	100	現代社会や自然科学，農業や食品等に関わる諸問題を題材にして，問題の理解力，論理的展開力，洞察力，独創性及びこれら学問分野に対する関心度，志向性及び基礎学力を総合的に判断し，点数化して評価します。なお，英文の資料を用いることがあります。
	面　　接	100	地域資源開発学科において関心を持つべき事項等に関して質問し，それに対する問題意識，対応力，表現力等から当学科学生としての適性，勉学意欲などを総合的に判断し，点数化して評価します。
	調査書等	30	主体性や協働性について，高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。 調査書での該当する記載欄：「3. 各教科の学習成績の状況」「5. 総合的な学習の時間の内容・評価」「6. 特別活動の記録」「7. 指導上参考となる諸事項」 評価基準又は高い評価となる例：いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。 ※ 上記の項目について，新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業や大会，資格・検定試験等の中止により記載できない場合は，その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を，「８．備考」の欄に補足として，具体的に記載してください。

■ **加点対象**

・ 県立広島大学・地域への志向性（５点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

・ 海外への留学経験（10 点満点）
海外への留学経験について，提出書類（該当者は提出）と面接での質疑応答を通して最大 10 点までの範囲で面接の得点に，加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点，出願書類の内容を総合して合否を判定します。

(5) 入学前学習

合格者を対象に入学前学習を実施します。

「入学前学習」とは，合格してから入学するまでの数か月間，自主的な学習を継続することによって，高等学校の学びから大学での学びへの移行をより円滑に進めることが目的で，高等学校での学習の総まとめとなる学習を行います。詳細は合格発表後に案内します。

■ 生物資源科学部　生命環境学科　生命科学コース

(1) 出願要件

出願する者は，次の各号のいずれにも該当することが必要です。

① 令和５年４月１日以降に高等学校等を卒業した者，若しくは高等専門学校第３学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し，若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者，又は令和６年３月 31 日までにこれらを卒業し，若しくは修了する見込みである者のうち，次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要　　件
県内 高等学校等推薦 (6)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第３学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門 高等学校等推薦 (2)	次のいずれかに該当する者 １　広島県内の高等学校等の農業に関する学科若しくは工業に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 ２　広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち，農業に関する教科・科目の単位を 20 単位以上修得した者若しくは修得する見込みである者又は工業に関する教科・科目の単位を 20 単位以上修得した者又は修得する見込みである者
全国 高等学校等推薦 (5)	次のいずれかに該当する者 １　広島県内を含めた全国の高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 ２　広島県内を含めた全国の高等専門学校第３学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し，若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

② 学校長が学業成績，適性，意欲及び人物について，責任をもって推薦できる者であること。

③ 合格した場合，本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部，転学科及び転コースは，原則，許可しない。）

(2) 推薦人員

募集区分ごとに，１学校当たり２人まで（ただし，４人を上限とする。）

(3) 試験科目・配点，内容及び採点・評価の基準

<table>
<tr><th>募集区分</th><th>科目</th><th>配点</th><th>内容及び採点・評価の基準及び配点</th></tr>
<tr><td rowspan="3">募集区分
共　通</td><td>小　論　文</td><td>100</td><td>現代社会や自然科学，生命科学に関わる諸問題を題材にして，問題の理解力，論理的展開力，洞察力，独創性及びこれら学問分野に対する関心度，志向性及び基礎学力を総合的に判断し，点数化して評価します。なお，英文の資料を用いることがあります。</td></tr>
<tr><td>面　　接</td><td>100</td><td>生命科学コースにおいて関心を持つべき事項等に関して質問し，それに対する問題意識，対応力，表現力等から当コース学生としての適性，勉学意欲などを総合的に判断し，点数化して評価します。</td></tr>
<tr><td>調 査 書 等</td><td>30</td><td>主体性や協働性について，高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。
<table>
<tr><th>調査書での該当する記載欄</th><th>評価基準又は高い評価となる例</th></tr>
<tr><td>「3. 各教科の学習成績の状況」</td><td rowspan="4">いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。</td></tr>
<tr><td>「5. 総合的な学習の時間の内容・評価」</td></tr>
<tr><td>「6. 特別活動の記録」</td></tr>
<tr><td>「7. 指導上参考となる諸事項</td></tr>
</table>
※ 上記の項目について，新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業や大会，資格・検定試験等の中止により記載できない場合は，その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を，「８．備考」の欄に補足として，具体的に記載してください。</td></tr>
</table>

■ 加点対象

・ 県立広島大学・地域への志向性（５点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

・ 海外への留学経験（10 点満点）
海外への留学経験について，提出書類（該当者は提出）と面接での質疑応答を通して最大 10 点までの範囲で面接の得点に，加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点，出願書類の内容を総合して合否を判定します。

(5) 入学前学習

合格者を対象に入学前学習を実施します。

「入学前学習」とは，合格してから入学するまでの数か月間，自主的な学習を継続することによって，高等学校の学びから大学での学びへの移行をより円滑に進めることが目的で，高等学校での学習の総まとめとなる学習を行います。詳細は合格発表後に案内します。

■ 生物資源科学部　生命環境学科　環境科学コース

(1) 出願要件

出願する者は，次の各号のいずれにも該当することが必要です。

① 令和５年４月１日以降に高等学校等を卒業した者，若しくは高等専門学校第３学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し，若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者，又は令和６年３月31日までにこれらを卒業し，若しくは修了する見込みである者のうち，次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要　　件
県内 高等学校等推薦 (6)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第３学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門 高等学校等推薦 (2)	次のいずれかに該当する者 1　広島県内の高等学校等の農業に関する学科若しくは工業に関する学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2　広島県内の高等学校等の総合学科を卒業した者又は卒業する見込みである者のうち，農業に関する教科・科目の単位を 20 単位以上修得した者若しくは修得する見込みである者又は工業に関する教科・科目の単位を 20 単位以上修得した者又は修得する見込みである者
全国 高等学校等推薦 (5)	次のいずれかに該当する者 1　広島県内を含めた全国の高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2　広島県内を含めた全国の高等専門学校第３学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し，若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

② 学校長が学業成績，適性，意欲及び人物について，責任をもって推薦できる者であること。

③ 合格した場合，本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部，転学科及び転コースは，原則，許可しない。）

(2) 推薦人員

募集区分ごとに，１学校当たり２人まで（ただし，４人を上限とする。）

(3) 試験科目・配点，内容及び採点・評価の基準

<table>
<tr><th>募集区分</th><th>科目</th><th>配点</th><th>内容及び採点・評価の基準及び配点</th></tr>
<tr><td rowspan="3">募集区分
共　通</td><td>小　論　文</td><td>100</td><td>現代社会や自然科学，環境科学に関わる諸問題を題材にして，問題の理解力，論理的展開力，洞察力，独創性及びこれら学問分野に対する関心度，志向性及び基礎学力を総合的に判断し，点数化して評価します。なお，英文の資料を用いることがあります。</td></tr>
<tr><td>面　　接</td><td>100</td><td>環境科学コースにおいて関心を持つべき事項等に関して質問し，それに対する問題意識，対応力，表現力等から当コース学生としての適性，勉学意欲などを総合的に判断し，点数化して評価します。</td></tr>
<tr><td>調 査 書 等</td><td>30</td><td>主体性や協働性について，高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。
<table>
<tr><th>調査書での該当する記載欄</th><th>評価基準又は高い評価となる例</th></tr>
<tr><td>「3. 各教科の学習成績の状況」</td><td rowspan="4">いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。</td></tr>
<tr><td>「5. 総合的な学習の時間の内容・評価」</td></tr>
<tr><td>「6. 特別活動の記録」</td></tr>
<tr><td>「7. 指導上参考となる諸事項</td></tr>
</table>
※ 上記の項目について，新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業や大会，資格・検定試験等の中止により記載できない場合は，その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を，「８．備考」の欄に補足として，具体的に記載してください。</td></tr>
</table>

■　加点対象

・　県立広島大学・地域への志向性（５点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した評価申請書（提出は任意）に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

・　海外への留学経験（10 点満点）
海外への留学経験について，提出書類（該当者は提出）と面接での質疑応答を通して最大 10 点までの範囲で面接の得点に，加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と，出願書類の内容を総合して合否を判定します。

(5) 入学前学習

合格者を対象に入学前学習を実施します。

「入学前学習」とは，合格してから入学するまでの数か月間，自主的な学習を継続することによって，高等学校の学びから大学での学びへの移行をより円滑に進めることが目的で，高等学校での学習の総まとめとなる学習を行います。詳細は合格発表後に案内します。

■　保健福祉学部　保健福祉学科　看護学コース

(1) 出願要件

出願する者は，次の各号のいずれにも該当することが必要です。

①　令和５年４月１日以降に高等学校等を卒業した者若しくは高等専門学校第３学年を修了した者又は令和６年３月 31 日までにこれらを卒業し，若しくは修了する見込みである者のうち，次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要　　件
県内高等学校等推薦 (18)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第３学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦 (1)	次のいずれにも該当する者 1　広島県内の高等学校等の職業教育を主とする学科若しくは総合学科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者 2　看護に関する科目（「高等学校学習指導要領（平成 21 年文部省告示第 34 号)」第 1 章第 2 款又は「特別支援学校高等部学習指導要領（平成 21 年文部省告示第 37 号)」第 1 章第 2 節第 2 款に掲げる教科のうち，看護に属する科目に相当するものを指す。）を修得した者又は修得する見込みである者

②　調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者であること。

③　学校長が適性，意欲及び人物について，責任をもって推薦できる者であること。

④　合格した場合，本学に必ず入学する者であること。(推薦入学した者の転学部，転学科及び転コースは，原則，許可しない。)

(2) 推薦人員

①　県内高等学校等推薦　　１学校当たり２人まで

②　県内専門高等学校等推薦　１学校当たり１人

(3) 試験科目・配点，内容及び採点・評価の基準

<table>
<tr><th>募集区分</th><th>科目</th><th>配点</th><th>内容及び採点・評価の基準</th></tr>
<tr><td rowspan="3">募集区分
共　通</td><td>小　論　文</td><td>100</td><td>著書，論文，評論，資料などを題材とする問題で，課題に対する読解力，洞察力，論理的思考力，文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し，点数化して評価します。</td></tr>
<tr><td>面　　接</td><td>100</td><td>看護学分野に対する興味・関心・意欲，高校生活における活動（社会・地域貢献や海外留学経験などを含む。）などについて質問し，判断力・思考力，コミュニケーション力，協働性，倫理観などを総合的に判断して，点数化して評価します。</td></tr>
<tr><td>調 査 書 等</td><td>5</td><td>主体性や協働性について，高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。
<table>
<tr><th>調査書での該当する記載欄</th><th>評価基準又は高い評価となる例</th></tr>
<tr><td>「5. 総合的な学習の時間の内容・評価」</td><td rowspan="3">いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。</td></tr>
<tr><td>「6. 特別活動の記録」</td></tr>
<tr><td>「7. 指導上参考となる諸事項」</td></tr>
</table>
※ 上記の項目について，新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業や大会，資格・検定試験等の中止により記載できない場合は，その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を，「８．備考」の欄に補足として，具体的に記載してください。</td></tr>
</table>

■　加点対象

・　県立広島大学・地域への志向性（５点満点）
　本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した<u>評価申請書（提出は任意）に基づき</u>，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と，出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は，面接の得点の高い順に合格とします。 ただし，小論文又は面接の得点が一定基準以下の場合は不合格とすることがあります。

■　保健福祉学部　保健福祉学科　理学療法学コース

(1) 出願要件

出願する者は，次の各号のいずれにも該当することが必要です。

①　令和５年４月１日以降に高等学校等を卒業した者若しくは高等専門学校第３学年を修了した者又は令和６年３月 31 日までにこれらを卒業し，若しくは修了する見込みである者のうち，次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要　　件
県内高等学校等推薦 (9)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第３学年を修了した者若しくは修了する見込みである者

②　調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者であること。

③　学校長が適性，意欲及び人物について，責任をもって推薦できる者であること。

④　合格した場合，本学に必ず入学する者であること。(推薦入学した者の転学部，転学科及び転コースは，原則，許可しない。)

(2) 推薦人員

１学校当たり２人まで

(3) 試験科目・配点，内容及び採点・評価の基準

<table>
<tr><th>募集区分</th><th>科目</th><th>配点</th><th>内容及び採点・評価の基準</th></tr>
<tr><td rowspan="3">県内
高等学校等
推薦</td><td>小　論　文</td><td>100</td><td>著書，論文，評論，資料などを題材とする問題で，課題に対する読解力，洞察力，論理的思考力，文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し，点数化して評価します。</td></tr>
<tr><td>面　　接</td><td>100</td><td>理学療法分野および地域課題の基本事項，高校生活における活動（社会・地域貢献や海外留学経験などを含む。）などについて質問し，理学療法士としてチームで活動できる人材として望まれる態度，協調性，思考力などを総合的に判断して，点数化して評価します。</td></tr>
<tr><td>調 査 書 等</td><td>5</td><td>主体性や協働性について，高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。
<table>
<tr><th>調査書での該当する記載欄</th><th>評価基準又は高い評価となる例</th></tr>
<tr><td>「5. 総合的な学習の時間の内容・評価」</td><td rowspan="3">いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。</td></tr>
<tr><td>「6. 特別活動の記録」</td></tr>
<tr><td>「7. 指導上参考となる諸事項」</td></tr>
</table>
※ 上記の項目について，新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業や大会，資格・検定試験等の中止により記載できない場合は，その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を，「８．備考」の欄に補足として，具体的に記載してください。</td></tr>
</table>

■　加点対象

・　県立広島大学・地域への志向性（５点満点）
　本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と，出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は，面接の得点の高い順に合格とします。 ただし，小論文又は面接の得点が一定基準以下の場合は不合格とすることがあります。

■　保健福祉学部　保健福祉学科　作業療法学コース

(1) 出願要件

出願する者は，次の各号のいずれにも該当することが必要です。

①　令和５年４月１日以降に高等学校等を卒業した者若しくは高等専門学校第３学年を修了した者又は令和６年３月 31 日までにこれらを卒業し，若しくは修了する見込みである者のうち，次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要　　件
県内高等学校等推薦 (9)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第３学年を修了した者若しくは修了する見込みである者

②　調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者であること。

③　学校長が適性，意欲及び人物について，責任をもって推薦できる者であること。

④　合格した場合，本学に必ず入学する者であること。(推薦入学した者の転学部，転学科及び転コースは，原則，許可しない。)

(2) 推薦人員

１学校当たり２人まで

(3) 試験科目・配点，内容及び採点・評価の基準

<table>
<tr><th>募集区分</th><th>科目</th><th>配点</th><th>内容及び採点・評価の基準</th></tr>
<tr><td rowspan="3">県内
高等学校等
推薦</td><td>小　論　文</td><td>100</td><td>著書，論文，評論，資料などを題材とする問題で，課題に対する読解力，洞察力，論理的思考力，文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し，点数化して評価します。</td></tr>
<tr><td>面　　接</td><td>100</td><td>本コースで学ぶことへの意欲と志向，高校生活における活動（社会・地域貢献や海外留学経験などを含む。）などについて質問し，作業療法に携わる人材として望まれる態度，積極性，理解力，表現力及び明確な目的意識などを総合的に判断し，点数化して評価します。</td></tr>
<tr><td>調 査 書 等</td><td>5</td><td>主体性や協働性について，高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。
<table>
<tr><th>調査書での該当する記載欄</th><th>評価基準又は高い評価となる例</th></tr>
<tr><td>「5. 総合的な学習の時間の内容・評価」</td><td rowspan="3">いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。</td></tr>
<tr><td>「6. 特別活動の記録」</td></tr>
<tr><td>「7. 指導上参考となる諸事項」</td></tr>
</table>
※ 上記の項目について，新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業や大会，資格・検定試験等の中止により記載できない場合は，その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を，「８．備考」の欄に補足として，具体的に記載してください。</td></tr>
</table>

■　加点対象

・　県立広島大学・地域への志向性（５点満点）
　本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と，出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は，面接の得点の高い順に合格とします。 ただし，小論文又は面接の得点が一定基準以下の場合は不合格とすることがあります。

■　保健福祉学部　保健福祉学科　コミュニケーション障害学コース

(1) 出願要件

出願する者は，次の各号のいずれにも該当することが必要です。

①　令和５年４月１日以降に高等学校等を卒業した者若しくは高等専門学校第３学年を修了した者又は令和６年３月 31 日までにこれらを卒業し，若しくは修了する見込みである者のうち，次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要　　件
県内高等学校等推薦 (7)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第３学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
全国高等学校等推薦 (2)	次のいずれかに該当する者 1　広島県内を含めた全国の高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2　広島県内を含めた全国の高等専門学校第３学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し，若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

②　調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者であること。

③　学校長が適性，意欲及び人物について，責任をもって推薦できる者であること。

④　合格した場合，本学に必ず入学する者であること。(推薦入学した者の転学部，転学科及び転コースは，原則，許可しない。)

(2) 推薦人員

①　県内高等学校等推薦　　１学校当たり２人まで

②　全国高等学校等推薦　　１学校当たり２人まで

(3) 試験科目・配点，内容及び採点・評価の基準

<table>
<tr><th>募集区分</th><th>科目</th><th>配点</th><th>内容及び採点・評価の基準</th></tr>
<tr><td rowspan="3">募集区分
共通</td><td>小　論　文</td><td>100</td><td>著書，論文，評論，資料などを題材とする問題で，課題に対する読解力，洞察力，論理的思考力，文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し，点数化して評価します。</td></tr>
<tr><td>面　　接</td><td>100</td><td>本コースで学ぶことへの意欲と志向及び言語聴覚士についての理解，高校生活における活動（社会・地域貢献や海外留学経験などを含む。）などについて質問し，対人援助職である言語聴覚士として望まれる態度，思考力，判断力，表現力などを総合的に判断し，点数化して評価します。</td></tr>
<tr><td>調 査 書 等</td><td>5</td><td>主体性や協働性について，高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。
<table>
<tr><th>調査書での該当する記載欄</th><th>評価基準又は高い評価となる例</th></tr>
<tr><td>「5.　総合的な学習の時間の内容・評価」</td><td rowspan="3">いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。</td></tr>
<tr><td>「6.　特別活動の記録」</td></tr>
<tr><td>「7.　指導上参考となる諸事項」</td></tr>
</table>
※ 上記の項目について，新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業や大会，資格・検定試験等の中止により記載できない場合は，その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を，「８．備考」の欄に補足として，具体的に記載してください。</td></tr>
</table>

■　加点対象

・　県立広島大学・地域への志向性（５点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した<u>評価申請書（提出は任意）に基づき</u>，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と，出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は，面接の得点の高い順に合格とします。 ただし，小論文又は面接の得点が一定基準以下の場合は不合格とすることがあります。

■　保健福祉学部　保健福祉学科　人間福祉学コース

(1) 出願要件

出願する者は，次の各号のいずれにも該当することが必要です。

①　令和５年４月１日以降に高等学校等を卒業した者若しくは高等専門学校第３学年を修了した者又は令和６年３月 31 日までにこれらを卒業し，若しくは修了する見込みである者のうち，次の募集区分ごとに定める要件を満たす者であること。

募集区分（定員）	要　　件
県内高等学校等推薦 (11)	広島県内の高等学校等を卒業した者若しくは卒業する見込みである者又は広島県内の高等専門学校第３学年を修了した者若しくは修了する見込みである者
県内専門高等学校等推薦 (1)	広島県内の高等学校等の福祉に関する学科若しくは家庭に関する学科の生活福祉科若しくは人間福祉科を卒業した者又はこれらを卒業する見込みである者
全国高等学校等推薦 (2)	次のいずれかに該当する者 1　広島県内を含めた全国の高等学校等を卒業した者又は卒業する見込みである者 2　広島県内を含めた全国の高等専門学校第３学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し，若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又はこれらを修了する見込みである者

②　調査書の全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者であること。

③　学校長が適性，意欲及び人物について，責任をもって推薦できる者であること。

④　合格した場合，本学に必ず入学する者であること。（推薦入学した者の転学部，転学科及び転コースは，原則，許可しない。）

(2) 推薦人員

①　県内高等学校等推薦　　１学校当たり２人まで

②　県内専門高等学校等推薦　１学校当たり１人

③　全国高等学校等推薦　　１学校当たり２人まで

(3) 試験科目・配点，内容及び採点・評価の基準

<table>
<tr><th>募集区分</th><th>科目</th><th>配点</th><th>内容及び採点・評価の基準</th></tr>
<tr><td rowspan="3">募集区分
共通</td><td>小　論　文</td><td>100</td><td>著書，論文，評論，資料などを題材とする問題で，課題に対する読解力，洞察力，論理的思考力，文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し，点数化して評価します。</td></tr>
<tr><td>面　　接</td><td>100</td><td>社会福祉に関連する地域課題探究への意欲と志向，高校生活における活動（社会・地域貢献や海外留学経験などを含む。）などについて質問し，論理的思考力，表現力，理解力などを総合的に判断して，点数化することで評価します。</td></tr>
<tr><td>調 査 書 等</td><td>5</td><td>主体性や協働性について，高等学校における学びの履歴等を点数化して評価します。評価対象は次の項目とします。
<table>
<tr><th>調査書での該当する記載欄</th><th>評価基準又は高い評価となる例</th></tr>
<tr><td>「5. 総合的な学習の時間の内容・評価」</td><td rowspan="3">いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。</td></tr>
<tr><td>「6. 特別活動の記録」</td></tr>
<tr><td>「7. 指導上参考となる諸事項」</td></tr>
</table>
※ 上記の項目について，新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業や大会，資格・検定試験等の中止により記載できない場合は，その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を，「８．備考」の欄に補足として，具体的に記載してください。</td></tr>
</table>

■　加点対象

・　県立広島大学・地域への志向性（５点満点）
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した<u>評価申請書（提出は任意）に基づき</u>，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
小論文及び面接の得点と，出願書類の内容を総合して合否を判定します。 合格最低点での同点者は，面接の得点の高い順に合格とします。

8　総合型選抜

(1) 実施学部・学科及び募集人員

学　部	学　科	募集人員
生物資源科学部	地域資源開発学科	5

(2) 出願要件

令和５年４月１日以降に高等学校等を卒業した者，若しくは高等専門学校第３学年若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定し，若しくは指定した在外教育施設の当該課程を修了した者，又は令和６年３月 31 日までにこれらを卒業し，若しくは修了する見込みである者

(3) 選抜方法等

出願時に提出を求める書類をもとに，第１次選抜及び第２次選抜からなる２段階選抜を実施します。

２段階選抜の実施要件は，志願者数が募集人員の２倍を超えた場合とし，要件を満たさなかった場合は実施しません。

２段階選抜を実施する場合，令和５年９月 22 日（金）に，第１次選抜合格者に対して結果を通知します。

<table>
<tr><th>区　分</th><th>内　容</th><th>配点</th><th>内容及び採点・評価の基準</th></tr>
<tr><td rowspan="2">第１次選抜
【書類審査】</td><td>志望理由書</td><td>100</td><td>学科への興味・関心，入学後の学修等に対する意欲・熱意，記述の論理性・説得力などを総合的に判断し，点数化して評価します。</td></tr>
<tr><td>活動実績報告書及び調査書</td><td>100</td><td>主体性や協働性について，活動実績報告書及び調査書を用いて採点します。総合的な学習の時間等において取り組んだ課題研究，委員会・部活動・ボランティア活動，各種コンクールや大会等での活動成果，言語能力，取得資格・検定，海外での学習成果，それらの成果獲得に向けた努力のプロセス等を総合的に判断し，点数化して評価します。なお，高等学校における学びの履歴等を調査書で確認します。
<table>
<tr><th>調査書での該当する記載欄</th><th>評価基準又は高い評価となる例</th></tr>
<tr><td>「5. 総合的な学習の時間の内容・評価」</td><td rowspan="3">いずれかに主体性・協働性に関する肯定的な評価が記載されていること。</td></tr>
<tr><td>「6. 特別活動の記録」</td></tr>
<tr><td>「7. 指導上参考となる諸事項」</td></tr>
</table>
※ 上記の項目について，新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業や大会，資格・検定試験等の中止により記載できない場合は，その内容（大会や資格について等）及びそれに向けた努力のプロセス等を，「８．備考」の欄に補足として，具体的に記載してください。</td></tr>
<tr><td>第２次選抜</td><td>面接</td><td>200</td><td>地域課題及びその解決方策についてのプレゼンテーション（10 分程度）を実施するとともに，学科において関心を持つべき事項等に関して質問し，それに対する問題意識，対応力，表現力等から当学科学生としての適性，勉学意欲などを総合的に判断し，点数化して評価します。</td></tr>
</table>

■　**加点対象**

・　県立広島大学・地域への志向性（５点満点）　※第１次選抜で採点・評価します。
本学や他大学が実施している公開講座や高大接続事業等への参加等の取組で考えたことなどについて，受験者が記載した**評価申請書（提出は任意）**に基づき，県立広島大学・地域への志向性を判断し，最大５点までの範囲で加点します。

(4) 合否判定基準

合否判定基準
第１次選抜及び第２次選抜における得点により合否を判定します。 合格最低点での同点者は，第２次選抜（面接）の得点の高い順に合格とします。

(5) 入学前学習

合格者を対象に入学前学習を実施します。

「入学前学習」とは，合格してから入学するまでの数か月間，自主的な学習を継続することによって，高等学校の学びから大学での学びへの移行をより円滑に進めることが目的で，高等学校での学習の総まとめとなる学習を行います。詳細は合格発表後に案内します。